

イモカタバミ (芋片喰み)

名前の意味：里芋いみ さといものようなものが地下部ちかぶにあるカタバミの意味。カタバミは、葉の先がくぼんでいる形を、誰かにかじられたと、たとえた。

分類：双子葉類、カタバミ科、カタバミ属

好きな場所：日当たりのよい湿しめった場所

分布：本州、四国、九州

原産地：南米

特徴：3枚のハート形の葉、ピンク色で奥おくが紫むらさき色の花、地下のごつごつした芋いも。

種子の運ばれかた：

花弁の数：5枚、離弁りべん (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—7月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ムラサキカタバミは、地下部ちかぶがクロッカスの球根きゅうこんのようにみえる点、花はピンク色だが、奥が白い点でイモカタバミから区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)